

令和2年度 学校自己評価報告書

1 今年度の経営方針

《教育目標》	《努力目標》
<ul style="list-style-type: none"> ・考える子 ・思いやりのある子 ・たくましい子 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら学び、自ら考え、自分らしく表現することができる ・お互いを認め合い、協力して学校生活を送ることができる ・めあてをもって、体力づくりに取り組むことができる ・交通・生活・災害の安全を正しく判断し、安全な行動をすることができる

◆ 経営方針

郷土に誇りをもち、これからの社会や地域の発展に貢献できるような人間となることを願い、「教育は人づくり」という視点に立ち、夢と志の実現に向け、家庭や地域社会と連携を図りながら、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子ども(瞳輝く太陽の子)を育む教育活動を推進します。

《重点実践事項》

- ①郷土に対する愛着と誇りを育む活動の推進
- ②夢・志を実現するための確かな学力の育成
- ③お互いを尊重し協力して学校で生活できる豊かな心の育成
- ④生命を大切にし、健康で安全な生活を送るための健やかな体の育成
- ⑤一人一人の実態に即した特別支援教育の充実

2 自己評価の結果及び考察

(1) 考える子 [確かな学力の育成～思考力・判断力・表現力の育成]

重点事項	目標値	取り組み状況(成果及び課題)	関係者評価等
①学力の向上 ・話し合い活動を取り入れた授業及び補充指導の充実 ・コース別学習の充実	■ 県学習状況調査 ・県比 103%以上 ■ CRT 学力検査 ・全国比 110%以上	・公的機関による学習習得状況については、実施されなかったが、CRT では目標値を上回ることができた。自ら考え共に高め合う児童の育成を目指し、多様な教科でその特性に応じた見方・考え方を高める研究を行った。コロナ禍において学び合いの制限が発生したが、関わり合いの在り方を工夫し、学習意欲の向上にもつながった。 ・コース別学習については、3年生以上で実施できたが、単元や期間について工夫をすることでさらに効果的な運用を進めたい。	<input type="checkbox"/> 県学習状況調査 未実施 <input type="checkbox"/> 全国学習状況調査 未実施 <input type="checkbox"/> CRT 学力検査 全国比 113.8% (昨年度 111.7%)
②読書意欲の向上 ・読書活動の充実	■ 保護者アンケート ・肯定意見 90%以上	・わずかな空き時間でも読書する習慣が身についており、貸出冊数自体は増加傾向にあるが、家庭において読書を主体的に楽しんでいる状況にはない。(H30 年度 18,661 冊、R1 年度 17,903 冊、R2 年度 20,472 冊)	<input type="checkbox"/> アンケート調査 読書 保護者 62% (昨年度 63%) 児童 68% (昨年度 71%)
③家庭学習の習慣化 ・家庭学習の推進	■ 保護者アンケート ・肯定意見 90%以上	・家庭学習の手引きにより保護者も含めた啓発に取り組み、優れた学習の仕方についても機会を設けて紹介してきた。児童自身が自分の能力や必要感を判断しながら家庭学習に取り組めるよう、習慣化の支援を継続していく。	<input type="checkbox"/> アンケート調査 家庭学習 保護者 79% (昨年度 78%) 児童 82% (昨年度 80%)
各種データ			
① CRT 学力検査 (対象全校児童 1・2 年は国・算 3～6 年は国・社・算・理 全国比%)			

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全校
令和2年度	111.0	110.0	110.5	113.8	115.5	116.8	113.4

②学校教育活動保護者・児童アンケート結果(令和2年11月実施 はいと回答した%)

質問項目	保護者	児童
学校は表現力(話す・話合う・書く・描く)の向上に努めているが身に付いていると思いますか	91	90
学校は授業の充実に努めているが授業内容を理解できていますか	91	90
学校は読書意欲の向上に努めていますが、家でも学校でも読書をしていますか	62	68
家庭学習の習慣化に努めていますが家庭学習を「低学年20-30分、中学年40-50分、高学年1時間」してますか	79	82

考察及び次年度に向けた改善・方策

○学力の向上

一人一台のタブレット端末が配置されることから、ICT 機器の効果的な活用で授業改善を図りながら学力の向上につなげていかなければならない。また、主体的・対話的で深い学びが実践できるような問題解決的な学習過程を大切にすると共に、他者と関わり合いから思考が拡がり・深まったと実感できる児童の育成に努めたい。

○読書意欲の向上

書籍の管理システムが導入されることから、図書館の蔵書やスムーズな貸借体制を整備し、町立図書館等の貸出システムを活用するなどの連携を図り、読書好きの児童を増やしていきたい。

○家庭学習の習慣化

今後も家庭との連携を強化し家庭学習の習慣化と学習内容の充実に努めるとともに、個々の力量に応じた取組ができるような支援に努めていく。

(2) 思いやりある子 [豊かな心の育成～思いやりの心と規範意識の育成]

重点事項	目標値	取り組み状況(成果及び課題)	関係者評価等
①道徳教育の充実 ・全教育活動と関連を図った道徳教育	■思いやりのある言動にかかる保護者アンケート ・肯定意見 90%以上	・特別の教科道徳の「考え、議論する道徳」を意識した授業展開が図られ、抵抗感無く授業の実践に向かえた。また、学級だよりや参観日等で授業の様子を発信することで、家庭も巻き込んだの道徳性の育成が図られつつある。 ・児童の実態や全教育活動との関連性を明確にした年間指導計画等の改正が必要である。	□アンケート調査 思いやり 保護者 92% (昨年度 92%) 児童 82% (昨年度 61%)
②望ましい人間関係の形成 ・こころを込めたあいさつの推進 ・縦割りによるピカピカ黙働清掃の推進	■自ら進んで行うあいさつにかかる保護者アンケート ・肯定意見 90%以上	・「時と場に応じた挨拶」から「いつでも、どこでも明るい挨拶」へと目標を変更し、誰に対しても気軽に挨拶できるように取り組んだ。やらされる挨拶から、児童会や各学級の話合い活動を意識し継続して行ってきた。児童の評価も大きな向上が見られた。 ・縦割り清掃班ができないときであっても、無言で一生懸命掃除をする意識が継続できるよう支援した。 ・いじめは、しない・許さないの両面の視点で、児童会がいじめゼロ集会を実施し、いじめ防止についての意識を高めた。また、ありがとうカード等で肯定感の高揚に努めた。	□アンケート調査 ・あいさつ 保護者 84% (昨年度 85%) 児童 86% (昨年度 68%) ・清掃 保護者 93% (昨年度 94%) 児童 92% (昨年度 95%)
③郷土を誇れる心の育成 ・郷土に愛着と	■全学年で地域での学習を実施	・地域からの人材を広く受け入れることができない状況であったが、キャリアパスポートには、各学年の状況に応じて確実に足跡を残	

誇りを育む体験活動の推進	すことができた。	
各種データ		
①学校教育活動保護者・児童アンケート結果(令和2年11月実施 はいと回答した%)		
質問項目	保護者	児童
学校は道徳教育(道徳の授業等)の充実に努めているが思いやりの言動が見られますか	92	82
学校は挨拶の習慣化に努めていますが、家でも学校でも進んで挨拶をしていますか	84	86
黙働ピカピカ清掃を合い言葉に清掃活動を行っていますか、きれいに清掃されていますか	93	93
いじめを生み出さない人間関係づくりを行っていますか、成果が上がっていると思いますか	95	94
考察及び次年度に向けた改善・方策		
○道徳教育の充実 慈しみ(睦み)合いの中で、相手と気持ちが通じ合う喜びのある学校を目指し、特別の教科道徳を核として、命を大切に作る心、思いやりと規範意識の育成を図る授業実践に全職員で取り組みたい。		
○望ましい人間関係の育成 挨拶は指導されるものではなく、行うことで自分の気持ちが明るくなることを実感できる指導の浸透を図っていく。 いじめについては、定期的なアンケートと保護者との連携を図りながら、早期に認知し、速やかな対応を心がけていく。		
○郷土を誇れる心の育成 コロナ禍にあって例年のように地域に在住する方をゲストティーチャー等に招く機会が減じたが、対策等を取りながら、キャリア教育との関連付けを図る中で、郷土を愛する意識を育んでいきたい。		

(3) たくましい子 [健やかな体の育成～体力・健康安全意識の向上～]

重点事項	目標値	取り組み状況(成果及び課題)	関係者評価等
①体力の向上 ・教科体育とマラソン、なわとび運動の充実	■各学年マラソン目標到達率 ・100%	・児童の判断で自由時間を活用し、日々のマラソン・なわとびによる体力づくりに取り組んだ。マラソンよりも昇級が日常的に行われる縄跳びの方が楽しんで取り組んでいる姿が見られた。	□アンケート調査 ・体力の向上 保護者 88% (昨年度 88%) 児童 87% (昨年度 83%)
②生活リズムの確立 ・「早寝、朝日、朝ごはん」の推進	■保護者アンケート ・習慣化 90%以上	・臨時休校中も生活習慣の乱れを生じないように配慮した。また、早寝・朝日朝ご飯について生活リズムアンケートを2回実施し、意識や実態の変容に努めた。	□アンケート調査 生活リズム 保護者 86% (昨年度 85%) 児童 76% (昨年度 69%)
③危険予測・危険回避能力の育成 ・健康安全指導の充実	■交通事故件数 犯罪被害件数 ・件数0	・コロナウイルス感染対策への意識向上と感染要望策の徹底に努めた。 ・自分の命は自分で守るを合い言葉に、火災や地震を想定した避難訓練、交通安全教室などを実施した。交通事故をはじめ、命にかかわる重大事故は0件であった。	□交通事故件数 0件

各種データ

①学校教育活動保護者・児童アンケート結果(令和2年11月実施 はいと回答した%)

質問項目	保護者	児童
体力づくり(体育の授業・マラソン・なわとび運動)に努めていますが、お子様は取り組んでいますか	88	88
早寝・朝日・朝ごはんの習慣がついていると思いますか	86	76

考察及び次年度に向けた改善・方策

○体力の向上

コロナ禍にあって、積極的な体力づくりよりも、現在の体力を維持できるように指導した。個々人の意識が高く、日々の体力づくりには継続的な取組が見られた。

○生活リズムの確立

「早寝・朝日・朝ごはん」について、生活リズムアンケートを通して家庭の啓発に努めた。各家庭の取組を参考にし合って、更なる全体のレベルアップに繋げていきたい。

○危険予測・危険回避能力の育成

交通事故0、命にかかわる事故0が達成できた。引き続き、計画的・継続的指導で児童の意識を高めたい。